

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾3号店		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が常に、活動内容を見る事ができる環境を整えている。	利用者の日常の様子や好きな遊び、感覚など多岐にわたったの情報を取り入れ、支援に反映できるように意識している。	保護者のクリアリングも行き、利用児童、保護者共に心地よく利用できるように努める。また三位一体(利用者、保護者、スタッフ)での関りを心掛けて支援を行う。
2	児童発達支援の利用者を集めた小集団療育を行っている。	他者を観察する、順番を守る等、集団活動に適応できる経験を培えるように意識して支援を行なっている。	ルールや内容など、より明確な提示を行い安心して集団の中で過ごせるように支援を行う。
3	近隣の公園を利用する事で、より広い場所を必要とする運動に取り組むことが出来る。	ボール運動や、自転車練習など室内では取り組むことが出来ない運動を経験できるように支援している。	利用児童や保護者のニーズを把握し、より濃密な支援を行えるように日々の業務に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていない。	保護者に活動を見てもらおう事を、大切に支援を行っている。	必要に応じて自立通所支援等を行う事で、利用の幅が広がると考える。
2	他の福祉サービスや事業所との連携が、まだ十分に確立できていない。	連携に当たる流れを確立できておらず、スムーズに連携を取る事が出来ていない。	他事業所や福祉サービスとの連携が取れるように、決まった日に連携を取り合うなど仕組みの確立に努める。
3	保護者同士での情報交換等を行う機会が、少なく感じる。	座談会や、保護者セミナーを行ってはいるが現在は、不定期での開催となっている。	年間計画で企画し、利用者が情報を取得しやすい環境づくりを行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ネットチャット・スポーツ塾 3号店

公表日 令和7年 3月 1日

利用児童数

33人

回収数

72.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%	・2組の交換を行うには少し狭いかなと感じます。 ・広いスペースで運動できている。 ・今はまだ子供の身体が小さいのでじょうぶですが、もう少し子供が大きくなると、もう少し広い方が動き回しやすいかなと思います。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、安心してご利用頂けるスペースを確保しながらレッスンをいたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%	・おおよそ、「はい」です。相性の良い悪いなのか、先生によっては、子供を上手く導いて頂け無いため1レッスン終わってしまう事がある。	満足頂けるご支援ができず申し訳ございません。 今後もスタッフの指導力向上と保護者様、ご本人のニーズに沿った支援に努めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75.0%	20.8%	4.2%	0.0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	62.5%	29.2%	8.3%	0.0%	すみません、私が把握していないのでどちらともいえないにさせていただきました。	ご意見ありがとうございます。避難訓練の実施と報告を定期的に配信させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	83.3%	12.5%	4.2%	0.0%	事故を経験したことがないので分かりません	より皆さまが安心して活動できるように努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・前日から楽しみにしています ・行く前もそうですが、実際にレッスンを受けている間がとてもいい笑顔をしています。	いつもご利用ありがとうございます。今後もお子様が元気に満足して活動し、成長を感じられる場になりますように、また保護者様のニーズに沿った課題を踏まえて関わらせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・スタッフの方々が常に子供を褒めてくださり、褒めて育てる術を学べます。この事業所に通えて、親子とにもとても助けられています。 ・健常児の体操教室に通ってみて難しかったので、動作の繋がりを意識して手厚く教えて下さるのでありがたいです。	今後もお子様だけでなく、応援下さる保護者様も楽しんで頂けるような工夫をこれからも続けてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャットスポーツ塾 3号店				公表日	令和7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者様一人あたり2.47㎡の床面積を確保、更衣室・面談室を設けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基本人員以外に、加配の人員も配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		利用者様が安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている。事業所内はすべてフラット化されており、身体の障がいのある方でも利用できる設備を完備している。	店舗前の路面からの僅かな段差には必要に応じてスタッフが適宜対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		ご利用のない時間や終礼の時間で清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別利用希望の利用者様には、事前に聞き取りをしたうえで個別支援を実施している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一回の合同ミーティングなどで随時意見交換している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者様向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々、意見共有する場を設けており業務運営を行えている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想を頂戴し、改善のヒントにしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的に外部講師を招き研修を重ねている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		R7年度の公表に向け、作成を進めている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		モニタリング時にはアンケート調査を行い、同時に聞き取り調査も行って毎回の指導の指標にしている。利用時に保護者様と会話をしながら、困りごとやニーズを聞き取り支援に繋げている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		サービス担当者会議等を行い、指導者が共通理解のもと、サービスを行えるようにしている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		支援中に、第三者の指導者が保護者様と会話するなど、日々の行動観察に努めている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		日常生活や自立に繋がる支援や、自身で考えて活動したり、イベント行事や好きなことを行える支援を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		全利用者様の指導アプローチを職員全員で毎日共有している。		

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		保護者・子ども・指導員の3者による種目決定を行っているため固定化にならないシステムとなっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導、ペア指導、少人数集団指導の希望にそって指導計画を立案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の利用者様の注意事項や禁忌事項、支援の内容・方向性などを共有し、リードとサブなどの指導の役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終業後に指導員それぞれが感想、気づき、問題点などについて申し送りをし共有化している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の記録を毎回データ入力して保管しており、職員間での共有に役立っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回モニタリングを行い、継続支援が新たな課題を追加するかの見直しを図っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的にお子様の状況を理解している児童発達支援管理責任者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在、医療的ケアの必要な児童の利用はないが、必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されている施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されていた施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			現在は、そのような機会を設けていない 今後地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じた取り組みを行えるように努める
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		障がいのないお子様との関わりは設けていないが、イベント行事などで他の店舗の利用者様と関わる機会を設けている。	障がいのない子どもとの交流はあまり設けていない、しかし障がいのある子の運動・スポーツに関する指導方法を啓発するための書籍の出版、指導者養成講座の開催、見学・研修の受け入れなどの交流活動は実施している、また店舗合同のイベント（野球レッスン）を開催し交流を図っている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者の方が送迎され指導現場に同席されることで、子どもの活動場面を共有しながら意見交換を行う中で共通理解に努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		運動・スポーツに関する相談だけでなく、からだづくりや成長に役立つ情報は頻繁にお伝えしている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや利用者の意思などを聞き取り、ニーズに合わせた計画書を作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリングの際得られた情報よりモニタリング報告書を作成し、それに基づいて支援計画書を作成していることを説明し、保護者様に計画書の内容を確認していただいた上で同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		経験豊富な職員を中心に随時相談や適切な助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的な子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者様へ紹介したり、店舗事で座談会を催している。	日程や時間の都合上、参加者が少ないのでご参加いただけやすい日程を調整していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様との直接会話の中から悩み事、相談事を伺っている。場合によっては別日で時間を設けて会話をする機会を作っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月一回の通信誌の発行ならびにHP・LINE・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ず施錠できるロッカーに保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		毎回の利用時に保護者様との直接会話の時間をつくっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を随時実施し誰もが参加受講できる催しを開催している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、避難場所の確認や訓練等を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ、食事の提供は行っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、それらを元に研修や訓練等を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		掲示板に避難経路や避難場所を貼りだす事で、周知できるようにしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日ヒヤリハットをデータで管理し改善点を検討することで日頃の指導に反映している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待に関する研修会にスタッフが参加し、全スタッフに伝える時間を設けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		安全のためやむを得ず身体拘束をする場合に、保護者様に説明、支援計画書に記載し了解を得ている。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾3号店		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	115名	(回答者数) 56名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が常に、活動内容を見る事ができる環境を整えている。	利用者の日常の様子や好きな遊び、感覚など多岐にわたったの情報を取り入れ、支援に反映できるように意識している。	保護者のクリアリングも行き、利用児童、保護者共に心地よく利用できるように努める。また三位一体(利用者、保護者、スタッフ)での関りを心掛けて支援を行う。
2	「野球クラブ」「卓球クラブ」等、幅広い年代を集めた集団療育を毎月行っている。	ルールを意識した取り組み、他者とのコミュニケーションの向上等、集団活動に適應できる経験を培えるように意識して支援を行なっている。	ルールや内容など、より明確な提示を行い安心して集団の中で過ごせるように支援を行う。
3	近隣の公園を利用する事で、より広い場所を必要とする運動に取り組むことが出来る。	ボール運動や、自転車練習など室内では取り組むことが出来ない運動を経験できるように支援している。	利用児童や保護者のニーズを把握し、より濃密な支援を行えるように日々の業務に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていない。	保護者に活動を見てもらおう事を、大切に支援を行っている。	必要に応じて自立通所支援等を行う事で、利用の幅が広がると考える。
2	他の福祉サービスや事業所との連携が、まだ十分に確立できていない。	連携に当たる流れを確立できておらず、スムーズに連携を取る事が出来ない。	他事業所や福祉サービスとの連携が取れるように、決まった日に連携を取り合うなど仕組みの確立に努める。
3	保護者同士での情報交換等を行う機会が、少なく感じる。	座談会や、保護者セミナーを行ってはいるが現在は、不定期での開催となっている。	年間計画で企画し、利用者が情報を取得しやすい環境づくりを行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 3号店				公表日	令和7年3月1日			
		利用児童数				115人	回収数		49.5%	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	89.3%	10.7%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しめています。 ・1人の時は伸び伸びできますが、2人でレッスンの時は少し狭い感じもします。 ・項目によっては、やや狭いときがある。 ・模擬タミを敷いてからクッション性があって良いですね。衛生面での掃除は大変そうですけど…。 ・バスタやバレーボールができる広さ欲しい ・いつも身体もかわらせてもらっていると思います。 ・子どもの身体も大きくなり、種目によってはもう少し広いといいなあと思うところがあるので。 ・その時の状況でどこまで頑張れるかが大きく変わる子ですが、息子の状態を見ながら内容を考えて下さるので気負わずに参加できます。 ・天井の照明が気になってボールを使う時など加減して時がある様に感じます 	ご意見ありがとうございます。 引き続き、安心いただけるスペースを確保できるように心掛けて支援させていただきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	マンツーマンレッスンをしていただいています 優しく接してくれています。	ご意見ありがとうございます。 よりよいプログラムを提供する為の専門性を高めていくにも、日々スタッフとの会話や研修から、提供サービスの質の向上へと繋げてまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	畳のようなソフトなマットが敷いてあり、安心して運動させられます	より皆さまが安心して活動できるように努めてまいります。			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	子供の話を一生懸命聞いてくれます。 本人の意見を尊重しながら適切なメニューを組み立てていただいています 担当者により、満足度は違いますが、..	・計画案や実際の支援で疑問に感じる場合がございます よりよいプログラムを提供する為の専門性を高めていきます ・今後も保護者様だけでなくご本人のご希望、ニーズに沿った支援を行って参ります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	まだ再開したばかりで支援計画をいただけないため判断できません 子供のやりたい課題に取り組んでくれます。 毎回カウンセリングをしていただいた上で支援を計画できています	ご意見ありがとうございます。 久しぶりにお越し頂いた方には、聞き取りのお時間をきちんと確保しながら作成させていただきます		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	91.1%	8.9%	0.0%	0.0%				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	色々な事をやってくれます。 段階に分けて工夫がされている。 バリエーション豊かな支援がなされています	活動の幅を広げていけるように様々な運動に取り組めるように支援しています。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	26.8%	44.6%	28.6%	0.0%	リズムクラブで他児との関わりを持っています。 保球クラブや野球クラブなどのイベントで、同年代の子と関わる機会もあり、楽しく通っています。	今後もイベント行事から交流を増やす機会を作れるように企画いたします。		
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96.4%	1.8%	1.8%	0.0%				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96.4%	1.8%	1.8%	0.0%				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	参加したいんですが、仕事の都合でなかなか難しいです。毎回同じ曜日なので他の曜日もあればいいかな、と思います。	ご意見ありがとうございます。 ご参加いただけやすい日程でご案内させていただきます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%	親子で毎回、話聞いてもらってます。 ある程度はできています。	ご意見ありがとうございます。 日々の小さな変化も共有していけるようにスタッフ一同努めてまいります。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83.9%	8.9%	7.1%	0.0%	ある程度は、されている。	保護者様との会話も支援の一部と認識しております。より質の高い支援を展開できるように努めてまいります。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	親切に支援してもらってます。 付き添いで行った際によく話を聞いていただいています	保護者様との会話も支援の一部と認識しております。より質の高い支援を展開できるように努めてまいります。		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	76.8%	23.2%	0.0%	0.0%		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	82.1%	17.9%	0.0%	0.0%	相談をしたことがないので、どのような対応されているかわかりません 相談をしたことはないから、 いるいる方法を教えてくれます	お気づきの点や困りごとがございましたら気兼ねなくご相談いただけます幸いです。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%	ラインのみです。 ホームページやSNSを利用していないから、 LINE頻度が多い印象ですけど…	ご意見ありがとうございます。 より皆様に活動内容を知ってもらえるようにHP等の情報配信を継続してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	69.6%	23.2%	7.1%	0.0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	46.4%	51.8%	1.8%	0.0%	訓練についてはよく知らないから、 参加したことがないのでわからない	ご意見ありがとうございます。 定期的に訓練等の実施内容を配信いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89.3%	10.7%	0.0%	0.0%	支援はあるが計画はよく知らないから、	今後も安心安全の中で活動していけるように支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	66.1%	32.1%	1.8%	0.0%	怪我、事故が起こったことがないので、わかりません 今までにそういう場面にあったことがない為 事故や怪我の経験がないから、 事故やケガが今のところないので そのような状況になったことがないのでわからない	今後も怪我・事故が起こらないように安全を確保した上で支援いたします。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%	・行く時は嫌そうでも終わったあとは楽しかったと言ってます。 ・個別のレッスンも集団のレッスンもどちらも楽しみにしています。 ・日によって異なる。 ・運動が好きになりました！ ・支援員の方々にお会いできるのを毎回楽しみにしています。	いつもご利用ありがとうございます。 今後もお子様が元気に満足して活動し、成長を感じられる場になりますように、また保護者様のニーズに沿った課題を踏まえて関わらせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	・幼少期から長年お世話になっております。できないをできるにするプログラムは、とても工夫されていて、大変満足しています。できなくても、やり方を覚え、できる達成感でプログラムを終わる事で、運動機能だけでなく精神的にも成長につながっています。ボートチャットのおかげで成長できた事がたくさんあり、大変感謝しております。 ・十分満足しています	いつもご利用いただきありがとうございます。 今後も心身共に成長発達できる支援を継続してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 3号店				公表日	令和7年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様一人あたり2.47mの床面積を確保、更衣室・面談室を設けている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基本人員以外に、加配の人員も配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者様が安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている。事業所内はすべてフラット化されており、身体の障がいのある方でも利用できる設備を完備している。	店舗前の路面からの僅かな段差には必要に応じてスタッフが適宜対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用者様が入らない時間や終礼の時間で清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別利用希望の利用者様には、事前に聞き取りをしたうえで個別支援を実施している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一回の合同ミーティングなどで随時意見交換している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			日々、意見共有する場を設けており業務運営を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想を頂戴し、改善のヒントにしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に外部講師を招き研修を重ねている。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			R7年度の公表に向け、作成を進めている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング時にはアンケート調査を行い、同時に聞き取り調査も行って毎回の指導の指標にしている。利用時に保護者様と会話をしながら、困りごとやニーズを聞き取り支援に繋げている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス担当者会議等を行い、指導者が共通理解のもと、サービスを行えるようにしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援中に、第三者の指導者が保護者様と会話するなど、日々の行動観察に努めている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用者の支援計画には、本人の希望や保護者のニーズなどを考慮した支援内容を設定している		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全利用者様の指導アプローチを職員全員で毎日共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		保護者・子ども・指導員の3者による種目決定を行っているため固定化にならないシステムとなっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導、ペア指導、少数集団指導の希望にそって指導計画を立案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の利用者様の注意事項や禁忌事項、支援の内容・方向性などを共有し、リードとサブなどの指導の役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終業後に指導員それぞれが感想、気づき、問題点などについて申し送りをし共有化している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の記録を毎回データ入力で保管しており、職員間での共有に役立っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回モニタリングを行い、継続支援か新たな課題を追加するかの見直しを図っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日常生活や自立に繋がる支援や、自身で考えて活動したり、イベント行事や好きなことを行える支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様が考え、決めて活動する支援を毎回意識して行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的にお子様の状況を理解している管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在、医療的ケアの必要な児童の利用はないが、必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様が毎回直接送迎いただくシステムになっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている。支援会議などで学校を訪問することがあり、教員と意見交換をしている。また所属されている施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		利用に際しての全記録が保管されているので、要望があればいつでも提供できる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現在は、そのような機会を設けていない 今後地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じた取り組みを行えるように努める
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		イベント行事などで他の店舗の利用者様と関わる機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現状、参加できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者の方が送迎され指導現場に同席されることで、子どもの活動場面を共有しながら意見交換を行う中で共通理解に努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		運動・スポーツに関する相談だけでなく、からだづくりや成長に役立つ情報は頻繁にお伝えしている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもや利用者の意思などを聞き取り、ニーズに合わせた計画書を作成している		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリングの際得られた情報よりモニタリング報告書を作成し、それに基づいて支援計画書を作成していることを説明し、保護者様に計画書の内容を確認していただいた上で同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		経験豊富な職員を中心に随時相談や適切な助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者の方へ紹介したり、店舗事で座談会を催している。	日程や時間の都合上、参加者が少ないのでご参加いただけやすい日程を調整していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様との直接会話の中から悩み事、相談事を伺っている。場合によっては別日で時間を設けて会話をする機会を作っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月一回の通信誌の発行ならびにHP・LINE・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ず施錠できるロッカーに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		毎回の利用時に保護者様との直接会話の時間をつくっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を随時実施し誰もが参加受講できる催しを開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、避難場所の確認や訓練等を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ、食事の提供は行っていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、それらを元に研修や訓練等を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		掲示板に避難経路や避難場所を貼りだす事で、周知できるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日データ記入し管理しているので改善点を検討し日頃の支援に反映している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待に関する研修会にスタッフが参加し、全スタッフに伝える時間を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		安全のためやむを得ず身体拘束をする場合に、保護者様に説明、支援計画書に記載し了解を得ている。		